

第17回大会(平成25年12月14日・15日)から一部のルールが
変更になります。出場をご希望の方はご注意ください。

姫路ロボ・チャレンジ 競技ルール改定

姫路ロボ・チャレンジ実行委員会
委員長 中村素弘

実施競技について

- エントリークラス
 - ロボットデモンストレーション、姫路城築城、探してポンの中から1つの競技を参加者が選択して実施
 - ロボ・タイムアタック
 - ロボットバトル
- スタンダードクラス
 - ロボットデモンストレーション
 - 姫路城築城
 - 探してポン
 - ロボ・トライアスロン
 - ロボットバトル
- 実施競技毎のルール
 - エントリークラス。スタンダードクラスとも実施する競技のルールは同一とする。

ロボットデモンストレーション

- ロボットデモンストレーション
 - 実施ルールに変更なし
- 姫路城築城
 - 実施ルールに変更あり
- ロボタイムアタック
 - 実施ルールに変更なし
- 探してポン
 - 実施ルールに変更あり
- ロボ・トライアスロン
 - 実施ルールに変更なし

姫路城築城

- 運搬方法について
 - 立方体、多面体とも運搬はスタートからゴールにいたるまで1個ずつの運搬とする。
 - ロボットが同時に複数の対象物に触れることは禁止
 - 積み上げ時はこの限りではない。
- スタートエリア内での対象物位置調整について
 - スタートエリア内ではロボットおよび対象物は自由に位置調整を行ってもよい。
 - 位置調整と称してロボットにあらかじめ対象物を把持させる事は禁止。
- ゴールエリア内での対象物位置調整について
 - すべての対象物についてゴールエリアに運搬後、ロボット以外が触れての位置調整は禁止する。
- 得点について
 - 運搬物なし 0点
 - 多面体(1個)をゴールエリア内に運搬成功 3点
 - ボックス1個と多面体1個をゴールエリア内に運搬し、2段積み上げが成功したとき 4点
 - ボックス2個と多面体1個をゴールエリア内に運搬し、3段積み上げが成功したとき 6点
- 失格について
 - 多面体が競技スペースから脱落したとき
 - ロボットの足裏部分が競技スペース外に接触したとき

探してぽん

- 自律探索プログラムが搭載されているロボットしか参加を認めない。
 - 注意 転落防止のみ対応したプログラムでは参加を認めない。
 - 俗称 徘徊プログラム(落ちませんさー)
- 対象物発見時のアクションについて
 - 対象物を発見した場合、音声、動作などでアピールしなければならない。
- 探索対象物の配置について
 - 探索対象物の配置については事前に公表しない。
 - 探索対象物の配置は協議毎にさいころを用いて決定する。
- ボーナスポイント用障害物は探索対象物3個が構成する三角形内に配置する。
- 開始位置について
 - ロボットの開始位置は従来のスタートエリアの内側のラインに、従来のスタートエリアの外側ライン方向をむけて配置する。
 - 従来のスタートエリアの内側のライン上での配置位置は6等分しさいころで位置を決める。
- 競技時間は2分とする。
- 得点
 - 大玉落とし成功 1点
 - 中玉落とし成功 2点
 - 小玉落とし成功 3点
 - 3個落とし成功したものを対象に「最初の一個目」を落とした時間順に順を決定し、
 - 1位 5点 2位 4点 3位 3点 4位 2点 5位 1点
 - 3個落とし成功者が5人に満たない場合は2個落とし成功者の「最初の一個目」を対象にする。
 - 2個落とし成功者を含めても5人に満たない場合は1個落とし成功者の「最初の一個目」を対象にする。
 - ボーナスポイント対象物にロボットが触れずに3個落としが成功したものについてはボーナスポイントとして3点附加する。